

< 商 業 > 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	電子商取引	学年・コース	3年生 ビジネス	単位数	2単位	教科書	電子商取引（東京法令出版）
学習の到達目標		1 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させる。 2 情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させる。 3 情報通信ネットワークを活用した技術を通じて、地域課題の解決を図る。					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解			
評価の内容	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識と技能を学ぼうとしているか。	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行い、分かりやすい情報発信ができるか。	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用・ウェブページの作成技術を身に付けることができたか。	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いた情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析・企画・立案・制作・公開の手法を身に付けたか。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や発言内容、態度 演習や実習への取組状況 レポート、プリント類 長期休業中課題 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や発言内容、態度 演習や実習への取組状況 レポート、プリント類 作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や態度 演習や実習への取組状況 レポート、プリント類 実習課題、作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加姿勢や態度 演習や実習への取組状況 レポート、プリント類 実習課題、作品制作 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	情報通信技術の進歩とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術の発展が、ビジネスの形態や広告・広報活動をどのように変化させてきたかを理解する。 情報通信ネットワークを担う企業の役割と業務、個人情報や知的財産権の保護と重要性について学ぶ。 	○			
	5	コンテンツの制作 実習	<ul style="list-style-type: none"> 図形・静止画・動画・音声などのファイル形式や特徴について理解する。 			○	
	6	実習	<ul style="list-style-type: none"> 基本図形やグラフの取り込みと編集方法を理解し、図形情報の効果的な利用法を習得する。 静止画データの取得方法やこれを活用するための技法を習得する。 			○	○
	7	実習	<ul style="list-style-type: none"> 動画データや音声データの取得方法やこれを活用するための技法を習得する。 商品開発やマーケティングと関連させる。 			○	○
2 学 期	8・9	ウェブデザインと広告・広報 実習	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページを制作するための手順について理解する。 ウェブデザインの意義や役割と理解し、デザインの基礎的な知識を習得する。 	○	○		
	10	実習	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で、ウェブページを作成する基本的な技法を習得する。 	○		○	
	11	ウェブページの公開 実習	<ul style="list-style-type: none"> CMSの意義や役割について理解する。 	○			○
	12	実習	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページを公開するための手順について理解し、インターネットの基礎的な知識を習得する。 			○	○
3 学 期	1	電子商取引とビジネス 実習	<ul style="list-style-type: none"> 電子商取引の意義や役割について理解する。 電子決済の意義や方法について理解する。 	○			
	2	自宅学習				○	○
	3						
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> 授業のなかで、教科書の例題や演習課題を確実に仕上げる。自宅で復習をし、分からない内容は質問を受ける。 					